

記者発表資料
平成23年9月9日
畜産課（草地飼料班）
担当 伊藤，及川，四ノ宮
内線 2852

宮城県内の粗飼料の放射性物質測定結果に基づく対応について

東北大学の協力により、牧草、発酵粗飼料用イネの放射性物質の測定結果がでましたので、お知らせします。

1 牧草について

牧草の放射性物質を測定したところ、測定した全地点で暫定許容値を下回っていることが確認されました。下記の自粛要請継続地域においては、引き続き牧草の給与及び放牧の自粛を継続しています。

今後の対応としては、自粛解除地域においては牧草の生育状況を見ながら調査を継続するとともに、自粛要請継続地域においては今後の調査結果を踏まえ自粛要請の解除を検討します。

自粛要請継続地域

栗原市栗駒の一部（栗駒地区、岩ヶ崎地区、^{と や さ き}鳥矢崎地区中野・鳥沢、^{もんじ}文字地区、尾松地区^{いな や し き}稲屋敷）

2 発酵粗飼料用イネについて

収穫後の発酵粗飼料用イネを調査したところ、測定した全地点で暫定許容値を大きく下回っていることが確認されました。専用収穫機により収穫・調製したのものについては、給与して差し支えありません。

牧草収穫機を使って収穫したものについても追加調査を行ないます。それまでの間、牧草収穫機を使って収穫・調製したのものについては、給与しないようお願いいたします。

3 測定結果について

裏面のとおり

粗飼料の放射性物質測定結果について

1 採取日

平成23年9月5日（月）～7日（水）

2 測定依頼機関

東北大学（宮城県仙台市）

3 測定結果について

（1）牧草

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性セシウム 測定値*1	備考
牧草	栗原市	172	自粛継続地域
牧草	栗原市	29	
牧草	仙台市	9	

※1：水分補正はしていない

（2）発酵粗飼料用イネ

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性セシウム 測定値*1	収穫体系
発酵粗飼料用イネ	角田市	不検出	専用収穫機により収穫したもの
発酵粗飼料用イネ	大郷町	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	大和町	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	色麻町	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	栗原市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	登米市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	石巻市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	登米市	不検出	牧草収穫機により収穫したもの

※1：水分補正はしていない

【参考】

飼料中の放射性セシウムの暫定許容値（平成23年8月1日設定）

牛，馬，豚，家きん等用飼料中に含まれることが許容される最大値300ベクレル/kg
（粗飼料は水分含有量8割ベース，その他飼料は製品重量）

ただし，乳用牛（経産牛及び初回交配以降の牛）又は肥育牛以外の牛のうち，当分の間，と畜出荷することを予定していない牛に給与される粗飼料であって，その生産者自ら生産したもの，又は，単一若しくは近隣の複数の市町村内で耕畜連携の取組等により生産したものについては，例外的に3000ベクレル/kg（水分含有量8割ベース）まで使用を認める。この飼料を摂取した育成牛は，肥育牛として12ヶ月以上肥育した後にと畜出荷すること。

(参考)

【牧草収穫機体系】



①モアで刈り取り



②テッターで反転。乾燥を促進



③レーキで集草。ウインドローを作る



④ロールベアラで梱包。ヘールラップでラッピング

【専用収穫機体系】



①専用収穫機で刈り取り



②ロールを直接ヘールラップへ排出可能



③移動しながらラッピング



④リフト機能でトラックへの積み込みが可能